

# あにむん

総天然色



For Adult Only

# 柙の夢日記

最近、変な夢を見るようになった。夢の中での私は犬で、クラスのみんなに飼われている。教室もみんなも普段と一緒に私だけが裸だ。裸で四つんばいになるとお尻が丸見えになってすごく恥ずかしい。歩くと重みで垂れた乳房が揺れて恥ずかしい。でも私は犬だから裸でいるしかないのだ。

「ムネが大きな牝犬だなあ〜」  
神楽が私を見下ろして笑っている。  
「お尻もムチムチで変な牝犬〜」  
神楽が私のお尻をぺちぺちと叩き始める。



「パンッ!」「パンッ!」「パンッ!」  
お尻を叩かれていると、  
だんだん変な気分になって  
田な声を漏らしそうになる。  
「や...やめて...」  
「あれ?この牝犬喋ったぞ!  
みんなこの牝犬変だぞ!」  
神楽が騒ぎ出したので、  
クラスのみんなが集まってきた。  
「なんだ、なんだ?」  
「神...?」「どうしたの?裸で」  
(声を出したからバレたんだ。  
どうしよう!)

いくつもの男子の  
手が延びてきて  
私の身体をまさぐり始める。  
激しく胸を揉まれ、  
乳首をつままれ、  
股間の割れ目に  
指が侵入してくる。  
手を払いのけようとするが  
身体が動かない。  
身悶えする私を  
クラスのみんなが  
軽蔑した眼で  
見下ろしている。  
「ち...ちがう...神じゃない...  
私は牝犬です!」  
この場を切り抜けるには  
牝犬になり切る  
しかないと思つた。

「ホントに牝犬だったら人前でトイレ出来るよな？」  
そう、私は牝犬だから人前でしななければならぬのだ。  
私はみんなの前でオシッコをしようとしていた。  
でも、オシッコはなかなか出ない。  
息が荒れ、  
タプタプと乳房が揺れ、  
突き出したオマ○コにみんなの視線が突き刺さる。



「紳さんはまだ牝犬になりきれないんですね？」  
「私がお手伝いして上げます」  
ああ……ちよちゃんは牝犬になったんだ……  
そして私もちよちゃんのようなHな牝犬になるんだ。  
私は素直に納得した。  
「親犬は仔犬がトイレし易いように、  
こうやって舐めてあげるのです」  
ちよちゃんの小さな舌がチロチロと私の敏感な場所を刺激する。

「ああっ……だ……だ……だ……  
ちよちゃん……そこは……」  
クリトリスを  
舌で転がされ、  
アナルに舌を  
入れられ私は  
みんなの前で  
いやらしい声を  
あげ始めた。

「はあん……ああ……いい  
私はさらに強い  
刺激を得ようと  
腰を突き出した。  
「いい……気持ちいいの……  
もっと……もっとして」  
今まで味わった  
事の無い快感と  
激しい尿意が私を襲う。  
次の瞬間、私はオシッコを  
迸らせながらイッてしまった。

こんな夢を見る私は  
いやらしい女なのだろう。  
現実には無理だと  
分かっていても、  
教室でふと  
(……で裸になったら……)  
と想像してしまふ。  
こんな事誰にも話せないし、  
自分でする勇気も無いけど、  
もし誰か強く命令して  
くれる人がいたら……  
私は……私は……



ちい  
秀樹の  
オカズに  
なれる？

ねえ  
秀樹…

秀樹？



あにもん銀  
NOW ON SALE!

アベ○  
エンジン  
エルズ  
参上！

カ  
ツ  
ト  
！

お  
疲  
れ  
さ  
ま  
〜

ム  
ネ  
ム  
ネ  
良  
か  
つ  
た  
よ

お  
疲  
れ  
！  
ム  
ネ  
ム  
ネ

バ  
タ  
ン

プ  
ル  
ン

フ  
ツ  
フ  
ツ  
フ  
ツ  
そ  
の  
衣  
装  
は  
気  
に  
入  
っ  
て  
も  
ら  
え  
た  
か  
な  
？

ム  
ネ  
ム  
ネ



ひどいわ  
山〇監督…

ムネムネ  
恥ずかしくて  
死んじゃい  
そうです…

ひっ

嘘つけ、本当は

気持ち

良かった

んだろ？

ギョウ

ああ…

スタッフが  
どんな眼で  
お前を見ていたか  
いつもの様に  
報告しろ

あん

はい

ピクン

モ  
三



みんなすごく  
イヤらしい眼で  
ムネムネを  
見ていました…

はあ

舐めまわす  
ようにか？

はい…  
全身舐めまわす  
ように見て  
いました

はあ

ちよつと

動いただけで  
乳首とオマ○コが  
丸見えに  
なっていたぞ

そんな変態みたいな  
格好してオマ○コ  
濡らしてるのを  
みんな知ってるぞ  
タクン

ああああ  
言わない  
でえええ

お前が  
露出狂の  
変態女だ  
という事が  
みんなに  
ばれたな

はあ

いやあああ  
恥ずかしい

あああ  
いやん

グアユ

ヌポ

グアユ

ズブ

ああくん  
もう我慢  
できませんく

監督の子〇ポで  
ムネムネを  
お仕置きしてえ

くつくつくつ  
：お前は  
ホントに  
恥知らずな  
変態マゾだな

あ：ん  
監督がムネムネを  
こんな女に  
したんですう

はあ

はあ

ちゅぽ

ちゅぽ

これから  
最終回まで  
ずっと  
変態みたいな  
格好でお前を  
晒し続けて  
やるからな

ん

ん

ググ

ググ

ググ  
ググ  
ググ  
ググ

どうだ  
うれしいか？  
ムネムネ

ヒク

ヒク

ヌチュ

クチュ

ポル

ポル

はい：  
想像しただけで  
ソクソクします  
…だからしてえ

ムネムネの  
さもしいお尻に  
一杯してえ

ムネムネは  
アナルで  
イツちやう  
変態マゾですうう

くっくっくっ  
アナルは  
感じるか？  
ムネムネ！

はひい  
イイ

ズブズブズブ  
ズブズブ





本日は御来店誠に有り難うございます。

御来店の皆様にお知らせ致します。

ご用の際はテーブルに備え付けのボタンをお押し下さい。

担当ウエイトレスに直結したブザーがマナーモードで作動し、

お客様の席にお伺い致します。

尚、明日より当スカイラウンジで、

ランチバイキングのメニューを追加致します。

800円で食べ放題、飲み放題、揉み放題ですので、

皆様お誘いの上、御来店をお待ちしております。

早朝にはモーニングリップサービスもございますので、

御出勤の前の憩いのひとときをお楽しみ下さい。

命は花びらを  
めくり返すようにしながら、  
指を出し入れさせ始めた。

秘穴はとても窮屈そうだが、  
本指をしつかりとくわえ込んでいる。  
指を出し入れさせると、  
秘穴の下の方から愛液が  
トロトロと滲み出してきた。



「あら、

あまりの匂いに気絶したの？

…疾風は好物なのにね…」

「いい？勝者はあたし…

明日からはあなたが

日陰者よ…」

## あとがき

今回は多数のゲストをお迎えして「あにもん」金と銀の  
2冊の新刊を出すことが出来ました。

原稿依頼を快諾して頂いた先生方のおかげです。

本当にありがとうございました。

漫画を収録する都合上、ゲストのページの割り合いが金と銀で  
大幅に違っていますが、あまり気にしないで下さいね（笑）

今回作業して思ったのですが、フルカラー本2冊作るのは  
暴挙でした（笑）

自分の原稿を含めて20枚のカラーを仕上げるのに一ヶ月以上  
かかりました。

最後の10日間至っては食事や風呂、睡眠意外の時間はずっと作業  
してたのです（泣）

はっきりいってこんな修羅場、仕事でもそうあるもんじゃないです（笑）

これからは1冊にすることにします。

というか、商業誌の仕事を優先するです！（笑）

MON-MON

## 奥付

2002年8月11日発行

発行 コアラ企画  
発行者 MON-MON  
印刷所 木内印刷



# コアラ企画

